

町田市立 国際版画美術館の 工房・アトリエを 壊さないで！！



町田市の「芹ヶ谷公園 芸術の杜 パークミュージアム構想」で、

●工房 ●アトリエ ●喫茶けやきは**移転**し、「出会いの広場」になる計画です。



この工房は、1987年 東京芸術大学名誉教授・版画家 中林忠良氏によって設計されました。

一般の人が使える工房として、日本で最大の規模と最高の設備を備えています。

展示会の作品を鑑賞した後、版画工房をのぞいて見てください。制作の過程を知ることができます。



町田市立国際版画美術館は 私たちが未来に残すべき 大きな文化遺産です。

市は ● ● 対話を拒んでいます。

・市は市民を無視しています。

私たち工房利用者は、移転を「美術手帖」から知りました。私たちが問い合わせをするまで、市は伏せていました。



・市は版画美術館の歴史と条例を無視しています。

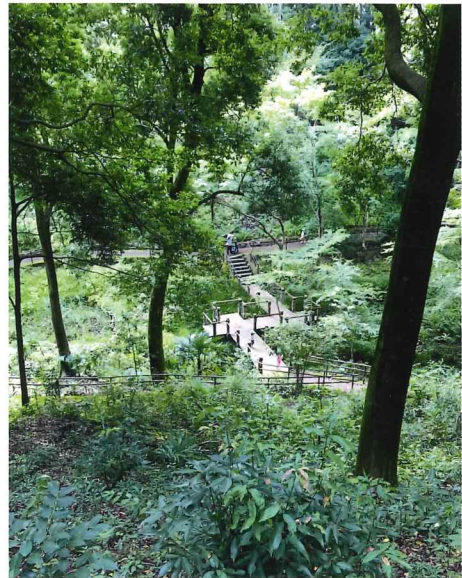
版画美術館設立時に出来た「基本構想」と版画美術館条例に、**工房は美術館内に設置**することが示されています。



・公費の無駄遣い。

十分使える工房を壊し、新しく作るのは公費の無駄遣いです。

私たちは 対話を求めています。



版画美術館の周りは、市民や園児たちの散歩道です。地球温暖化が問題になっている今日、豊かな自然を壊さないでください。



町田市立国際版画美術館の工房を守る会

三澤 042-725-9972

笠井 042-796-9330